

平成29年度 東京都予算案



メリハリをつけた予算

メリーちゃん ハリーくん



予算の編成方針

**「新しい東京」の実現に向けた改革を強力に推し進め、
明るい未来への確かな道筋を紡ぐ予算**

1

「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」の
3つのシティの実現に向けて、東京が抱える課題の解決と
より一層の成長創出のための施策展開を力強く進める

ハリ！



2

全ての事業の総点検を実施し、無駄の排除を徹底して行うなど、
都民ファーストの視点に立った財政構造改革の一層の推進を図る

メリ！



予算案のフレーム

一般会計の総額は

6兆9,540億円

前年度比



5年ぶりの
マイナス

メリ!



事業評価による財源確保

- 全ての事業に終期を設定、
評価時期をルール化

890件

720億円

過去最高の
財源確保額

新規事業の件数

- 3つのシティの実現に向けた
施策には積極的に財源を配分

382件

829億円

過去最高の
新規事業数

ハリ!



無駄は徹底して排除し、総額ではマイナスだが、
必要な施策には思い切って予算を配分した

メリハリをつけた予算

歳入の確保

税込

5兆 911 億円

6年ぶりのマイナス

基金の取崩

3,394 億円

積極的に活用

ハリ！



基金残高

1兆 9,035 億円

一定の残高を確保

都債発行額

2,983 億円

更に発行額を抑制

メリ！



都債残高

5兆 5,981 億円

5年連続のマイナス

都民1人当たり都債残高は、20年間で 約2割減少

基金の活用

28年度最終補正予算で、実行プランに合わせて基金の体系を整理

3つのシティ実現に向けた基金に整理

2つの基金を新設

ダイバーシティ実現基金	【拡充】福祉先進都市実現基金	+2,035億円
-------------	----------------	----------

スマートシティ実現基金	【新設】イノベーション創出基金（仮称）	300億円
-------------	---------------------	-------

セーフシティ実現基金	【新設】無電柱化推進基金（仮称）	700億円
------------	------------------	-------

オリンピック・パラリンピック開催に向けた基金

プランに掲げる施策の積極的な展開を後押し ハリ！



グリーンボンドの発行

- ・「東京グリーンボンド」を発行（国内自治体で初）
- ・グリーンボンドとは、環境問題の解決に必要な資金を調達するための債券

東京
グリーンボンド

200億円

東京2020大会を契機
とした環境対策

競技施設の環境対策

都道の遮熱性・保水性舗装

スマートエネルギー
都市づくり

都有施設・道路照明のLED化

環境に優しい都バスの導入

など

都民の参加意識 を高め、施策を推進

歳 出 の 状 況

- ・ 投資的経費は、13年ぶりとなる減（225億円の減）
- ・ 福祉と保健は、待機児童解消に向けた取組の充実などにより 349億円の増

メリ！



ハリ！



	29年度予算案	28年度予算	増（△）減	伸び率
福祉と保健	1兆 2,017 億円	1兆 1,668 億円	349 億円	3.0 %
教育と文化	1兆 1,073 億円	1兆 962 億円	111 億円	1.0 %
労働と経済	4,815 億円	4,886 億円	△ 71 億円	△ 1.5 %
生活環境	2,014 億円	2,191 億円	△ 176 億円	△ 8.0 %
都市の整備	8,821 億円	8,777 億円	44 億円	0.5 %
警察と消防	8,957 億円	9,133 億円	△ 177 億円	△ 1.9 %
企画・総務	2,945 億円	3,316 億円	△ 371 億円	△ 11.2 %
うち投資的経費	1兆 736 億円	1兆 960 億円	△ 225 億円	△ 2.1 %

ダイバーシティの実現に向けた取組 ① 待機児童解消に向けた取組

ハリ！



1,381 億円 (+403億円)

人材の確保・定着の支援 298 億円

拡充

保育士等キャリアアップ補助
⇒ 保育士等の更なる処遇改善

保育所等の整備促進 282 億円

新規

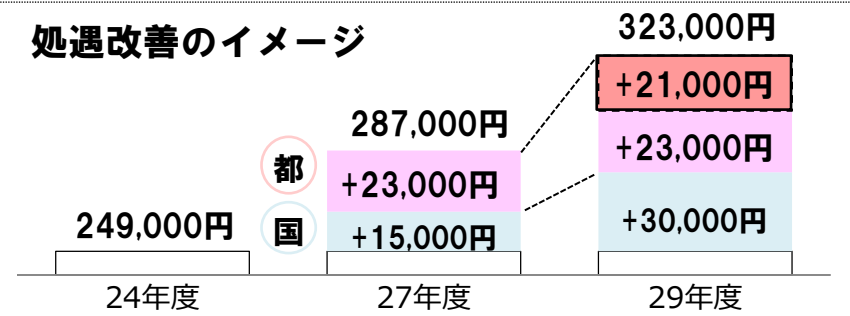
企業主導型保育施設設置促進事業

利用者支援の充実 801 億円

拡充

私立幼稚園等一時預かり事業費補助 ⇒ 3歳の壁問題解消などに寄与

処遇改善のイメージ



新規

民有地を活用した
保育所等整備促進税制



平成31年度末までに待機児童を解消

ダイバーシティの実現に向けた取組 ②

未来を担う人材の育成、高齢者・障害者が暮らしやすい社会の実現

未来を担う人材の育成

558 億円



新規 都立高等学校等における給付型奨学金の創設

拡充 私立高等学校等における給付型奨学金の拡充



高齢者が安心して暮らせる社会の実現

587 億円

新規 広域的に利用する特別養護老人ホームの整備に伴う地域福祉推進交付金

障害者がいきいきと暮らせる社会の実現 239 億円

新規 ソーシャルファームの推進 ⇒ 障害者団体と企業活動のマッチングなど

誰もがいきいきと暮らせる、活躍できる、働ける、学べる東京へ

ダイバーシティの実現に向けた取組 ③

誰もが活躍でき、優しさを感じられ、健康に暮らせる社会の実現

誰もが活躍できる社会の実現 181億円

新規 テレワークの推進 ⇒ 4億円の予算を配分

- ・「**テレワーク推進センター（仮称）**」を開設
- ・モデル企業を募集し、テレワークの活用結果を検証、成果を発信
- ・テレワーク導入に係るコンサルティング利用料や機器導入経費の一部を補助



誰もが優しさを感じられるまちづくり 168億円

拡充 ホームドアの整備促進

新規 動物愛護相談センターの整備

拡充 トイレの洋式化の推進 ⇒ 38億円の予算を配分

誰もが人生と仕事を調和させられ、誰に対しても温かく、優しい東京へ

スマートシティの実現に向けた取組 ①

環境先進都市の実現

817 億円 (+196億円)

スマートエネルギー都市の実現 177 億円

新規 家庭のLED省エネムーブメント促進事業

新規 バス停留所ソーラーパネル等設置促進事業



100万個のLED電球を配布



消費
電力

1/4~1/6

寿命

40 倍
4万時間



快適で豊かな都市環境の形成 640 億円

拡充 沿道環境等に配慮した路面の高機能化（遮熱性舗装等）

新規 食品ロス削減の推進

拡充 暑さ対策の気運醸成



スマートエネルギー都市、クール・クリーンで快適な都市へ

世界に開かれた国際・観光都市の実現

320 億円 (+34億円)

観光産業振興に向けた6つの戦略

消費拡大に向けた観光経営

新規 TOKYO旅館ブランド構築・発信事業

集客力が高く良質な観光資源の開発

新規 東京ライトアップ発信プロジェクト

観光プロモーションの新たな展開

新規 新しいアイコン等を活用した海外PR
プロジェクションマッピングを活用した
ユニークベニユーの推進

MICE誘致の新たな展開

新規 ハラルなど多様な文化や
習慣への対応

外国人旅行者の受入環境の向上

新規 東京から日本の魅力新発見
⇒ **ブロガー**により東京の魅力などを発信

日本各地と連携した観光振興

拡充



訪都外国人旅行者数：2015年 1,189万人 ⇒ **2020年 2,500万人** に

スマートシティの実現に向けた取組 ③

国際金融都市の実現、成長産業の育成等

154 億円 (+70億円)

国際金融都市の実現・外国企業誘致の加速化 24 億円

新規 金融系外国企業発掘・誘致事業

拡充 東京開業ワンストップセンター・ビジネスコンシェルジュ東京の取組



海外展開の促進 27 億円

新規 江戸東京きらりプロジェクト



成長産業の育成・強化

103 億円

新規 中小企業への
IoT化支援事業

拡充

次世代イノベーション
創出プロジェクト2020

<採択事例>

画像処理による
ドローンの自動制御



IoT・AIなどの先端技術を活用した産業の活性化などにより、日本経済を牽引

スマートシティの実現に向けた取組 ④

経営安定化支援、農林水産業の振興

3,495 億円（+2億円）

経営安定化支援等

3,440 億円

拡充 新・目指せ！中小企業経営力強化事業 ⇒ 販路開拓のための展示会出展等を支援

拡充 事業継承・再生支援事業 ⇒ 中小企業の後継者育成等を支援

拡充 地域の金融機関と連携した新たな金融支援策

農林水産業の振興

55 億円

新規 東京の将来に向けた農地活用事業

新規 江戸東京野菜生産流通拡大事業 ⇒ 販路や生産の拡大、ブランド化を支援



中小企業や農林水産業の活性化により、東京の更なる成長へと繋げる

無電柱化の推進

251 億円（+2億円）

東京都無電柱化推進条例案（仮称）の策定

都が管理する道路を対象に、以下の内容を盛り込んだ条例（案）を検討

- ・ 無電柱化を計画的に進めていく方策
- ・ これ以上電柱を増やさないための取組

新規

無電柱化事業に係る啓発活動

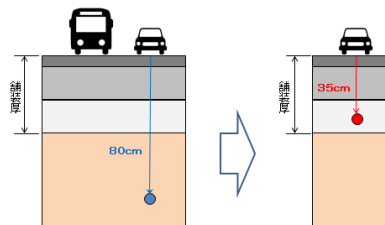
拡充

無電柱化に係る技術検討

拡充

区市町村無電柱化補助

⇒ 推進計画策定や低コスト手法導入に取り組む区市町村を支援



本体のコンパクト化、
浅層埋設導入などの
技術検討



技術革新や区市町村道での無電柱化を促進

セーフシティの実現に向けた取組 ②

倒れない、燃えない、水害に強いまちづくり

2,582 億円 (+33億円)

建築物の耐震化、木造住宅密集地域の不燃化 1,210 億円

拡充 区市町村耐震化促進普及啓発活動支援事業

新規 老朽建築物からの住替えに対する助成

継続 延焼遮断帯の形成



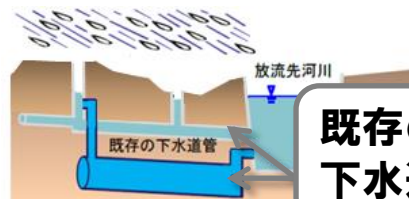
市街地の
不燃化

延焼遮断帯
の形成

水害に強いまちづくり 1,371 億円

拡充 下水道整備

拡充 耐震・耐水対策の推進



既存の下水道管と新たな
下水道幹線で対策を強化

耐震化率・不燃領域率などの目標達成や水害対策に向け、取組を着実に推進

セーフシティの実現に向けた取組 ③

地域コミュニティの活性化、まちの安全安心の確保

144 億円 (+52億円)

新規

地域活性化支援

⇒ 専門アドバイザーやプロボノワーカーを派遣、地域の課題解決を支援

拡充

地域の底力発展事業助成 ⇒ 助成件数を拡大

新規

区市町村立公園防犯カメラ整備補助

空き家、空き店舗対策

新規

商店街空き店舗活用事業

⇒ 空き店舗を活用して、地域の課題解決や賑わい創出を行う商店街を支援

拡充

保育従事職員宿舎借り上げ支援事業



活気に満ちて住みやすい、日常に潜む危険や犯罪から守られた地域へ

女性が輝ける社会の実現

ハリ！



50 億円（+8億円）

起業支援

新規

女性ベンチャー成長促進事業

拡充

「TOKYO創業ステーション」の運営

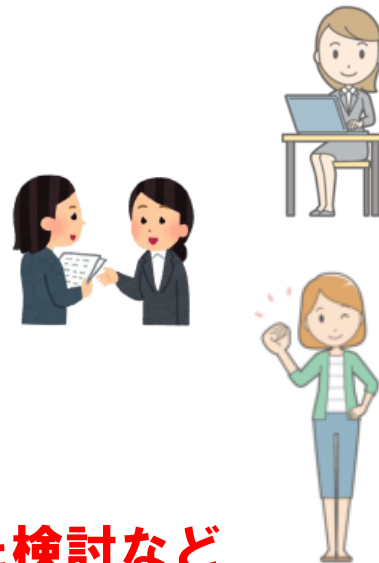
就業支援

拡充

「女性しごと応援テラス」の運営

新規

多摩地域女性就業支援プログラム



防災対策

新規

女性防災人材育成事業

新規

女性視点の防災ブックの検討・作成
⇒ 液体ミルクの備蓄・活用に向けた検討など

あらゆる分野で女性が活躍できる社会を実現

東京2020オリンピック・パラリンピック 競技大会の成功に向けた取組 **649** 億円 (△111億円)

継続

オリンピック・パラリンピック
競技施設等の整備

約400億円の整備費見直しは、設計変更等詳細が固まった段階で適切に対応

有明アリーナ オリンピック
アクアティクスセンター 海の森水上競技場



注 2015年10月（海の森水上競技場は2016年5月）時点のイメージ図

新規 小型家電回収促進事業 ⇒ **都市鉱山を活用したメダル作成プロジェクトに協力**

新規 東京パラリンピックに向けたアスリート支援
⇒ **障害者スポーツに供する優れた技術・製品の開発を促進**

継続 ラグビーワールドカップ2019の開催準備



東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019に向け万全の準備を実施

多摩・島しょの振興



2,393 億円 (+193億円)

拡充

市町村総合交付金

⇒ 市町村の課題等への対応を支援するため、10億円の増額措置

新規

多摩ものづくり創業の推進

新規

東京観光情報センター多摩（仮称）の整備



※ イメージ（バスタ新宿）

島しょ地域の振興

拡充

島しょのインターネット環境改善

新規

島しょ地域における電気自動車普及モデル事業

⇒ **電気自動車普及と島しょ振興に向けた実証実験を実施**



多摩・島しょ地域の発展のため、様々な政策を効果的・重層的に展開